

倫理審査委員会 平成23年6月6日

申請者	泌尿器科医師 山崎 六志
受付番号	75
課題名	陰茎癌化学療法適応外使用について
研究の概要	陰茎癌は日常臨床上遭遇する頻度のあまり高くない癌である。陰茎癌の治療は一昔前までは手術と放射線治療であった。しかし、1969年にブレオマイシンが陰茎癌の治療に有効であることを示し、それ以後化学療法は陰茎温存療法に大きく貢献した。陰茎癌に対する化学療法には主にBLM、ペプロマイシン、5-fluorouracil、メトレキサート、シスプラチンなどが用いられてきた。今回、保険適用外であるが一般的にVBM療法レジメンとして用いられている化学療法を施行する。
判定	計画どおり承認

申請者	呼吸器内科部長 仲間 薫
受付番号	76
課題名	呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(第二版)の検証
研究の概要	1997年に作成された「呼吸器感染症における新規抗微生物薬の臨床評価法」の改訂作業が現在進められており、近々に「呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(第二版)」が公表される予定である。本試験では、「呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(第二版)」の則り、市中肺炎患者に対して実際に薬剤を用い検証することで「呼吸器感染症における新規抗菌薬の臨床評価法(第二版)」の問題点を抽出することを目的とする。
判定	計画どおり承認